

榴ケ岡



公益財団法人

仙台ひと・まち交流財団

令和6年4月1日発行

市民センターだより 4月号



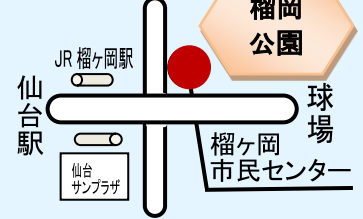
市民センター
ホームページ

〒983-0842 仙台市宮城野区五輪 1-3-1
TEL 299-5666 FAX 299-5690

仙台市榴ケ岡市民センターで検索または

<http://www.sendai-shimincenter.jp/miyagino/tsutsujigaoka/index.html>

榴ケ岡駅より徒歩3分
公共交通機関をご利用ください



令和6年度 榴ケ岡市民センター取組目標

地域のもの・ひと・まちの魅力を発信し、活気あるまちづくりをめざします

令和6年度 事業紹介

今年度も楽しく学べる事業を実施予定です。今後市民センターだよりで随時ご案内していきます。皆様のご参加をお待ちしています！

インリーダー研修会

東口ゆうえんち

私にもできる SDGs

東口ますます元気教室

榴ケ岡老壮大学

榴ケ岡寺子屋

榴ケ岡市民センターまつり

榴ケ岡市民センター懇談会

つなげよう つつじのめぐみ
～ HarvestPark Project ～

工業デザイン発祥の地を
のぞいてみよう

東口ゆうえんち企画会

予告

今年もやります

つなげよう
つつじのめぐみ

桜の花の塩漬け
づくり

今期は桜の開花状況により、
急なご案内になる場合もあります。

講座のご報告

主催：東口ガイドボランティア「宮城野さんほみち」
榴ケ岡市民センター

東口ガイドボランティア 養成講座・公開講座

第2回(3月2日)

「新寺小路の成り立ち～仙台北下最大の寺町の形成」
郷土史研究家の菅野正道氏を講師としてお招きし、仙台
駅東口の地形や歴史、寺院群が形成された背景について
お話を伺いました。

第3回(3月9日)「映画のロケ地を巡りながら 仙台歴史
と自分の歴史を振り返るまち歩き」

天候の都合によりまち歩きから座学に変更しました。講師
の“おさんぽ人”・映画コメンテーターの遠藤瑞知氏から
は、ロケ地となった仙台の風景の魅力や、ガイドする際に
取り入れたいヒントなどを伺いました。

「自分が暮らしている土地を新たな視点で学ぶことがで
きた」と受講生から好評でした。東口ガイドボランティア
活動の参加者も増え、今後益々の活躍が期待されます。



令和5年度 榴ケ岡老壮大学 閉講式を 行いました

去る3月7日、令和5年度榴ケ岡老壮大学閉講式
を執り行いました。

当日は記念公演として昭和歌謡や唱歌など聞き
馴染みのある曲を、フローリッシュウインドオーケ
ストラのアンサンブルユニットの皆さんが演奏し
てくださいました。



今年度、一緒に学んだ皆
さんは別れが惜しいよう
で、いつまでも和やかな
語らいが見られました。

東口ゆうえんち

「真冬のおばけやしき〜ザ・ライド〜」

2月18日、東口ゆうえんち恒例の「真冬のおばけやしき〜ザ・ライド〜」を開催しました！昨年同様、企画員が押す台車に乗って行くライド形式で行い、より“ゆうえんち”を感じられるお化け屋敷になりました。参加者からも「怖い！」「思っていたより本格的！」といった感想をいただくほど完成度の高いお化け屋敷ができ、企画員のみなさんのアイデアやクリエイティブ力が光った講座となりました。体育館の待機スペースではジュニアリーダーの活躍により工作やお絵描きを楽しむ子どもたちの様子がみられました。東口ゆうえんちは来年度も楽しい企画を準備して皆様をお待ちしております。



よも
も
ひも

榴
岡

シーズン4
【春の準備号】

桜の蕾がふくらむ季節にじわり感じる気候変動…福岡公園の植物の営みも、近年早めにずれてきているようです。人の営みも、春は希望に胸ふくらませる季節でありたいところですが、例えば仙台の新中学生は、容量 30ℓ のカバンを準備することになっているそうです。そこに部活道具や体操着が加わると…まず荷物がたっぷりふくらんでしまいそうです。

この暖冬は、クマの冬眠不足が心配になるほどで、人のように睡眠不足→不健康→肌は荒れ情緒不安定→悪くすると凶暴化、しないとも限りません。研究者によると、本州生息のツキノワグマは、肉食ではないので食べるために人を襲うことはなく、山菜やタケノコを夢中で探しているうちに人とバッタリ！で起きる事故が多いのだそうです。ご馳走でお腹をふくらませたいのは皆一緒。かれらの生息は、山が豊かである証しなのです。

ケンキュウの恩恵。〈暖冬のち、いろいろふくらむ春〉

いま社会は、株価が史上最高値を記録したからといって財布がふくらむわけでもなく、ふくらんでいるのは物価高への不満や政治不信。そして自然からは負のキックバックを受けている、そんな春です。（関沢）

◎クマ生態メモ…たまきさんサロン「クマの生態を探る」（地球環境計画／小野晋氏）R6.2.10より
・九州は環境変化や狩猟により既にクマは絶滅（絶滅宣言 2012 年環境省）四国の生息数は 29 頭。
・北海道に生息する肉食のヒグマは、泳ぎが上手だがさすがに津軽海峡を渡るのは無理。
・クマは冬眠中も体温は 30 度あり、起きてすぐ活動できる。



4月の体育館個人使用日

個人使用日は、2時間ごとに使用時間枠を設け、使用希望者が多い場合、各使用開始時間の 10 分前に抽選します。

- ・種目：バドミントン・卓球ができます。 ※用具とシューズはお持ちください。
- ・使用料：1 回の受付につき 2 時間 一般 240 円、小中学生 120 円
- ・他種目（バスケットボール、バレーボールなど）ではご利用できませんのでご注意ください。

●使用日：4月 6日（土）・ 7日（日）
13日（土）・14日（日）
20日（土）・21日（日）
27日（土）・28日（日）

●使用時間：① 9:00～11:00（8:50抽選）
② 11:00～13:00（10:50抽選）
③ 13:00～15:00（12:50抽選）
④ 15:00～17:00（14:50抽選）

※使用日・使用時間はやむを得ず変更になる場合があります。詳細はお問い合わせください。

4月の休館日： 1日（月）、8日（月）、15日（月）、22日（木）、30日（火）